

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス あかとんぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日	～	令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日	～	令和7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせた支援ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを丁寧に行い、得意・苦手を職員全体で共有している。 ・支援計画は定期的に見直し、成長や変化に応じて柔軟に修正している。 ・成功体験を積めるよう、課題の難易度を段階的に調整している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、児童一人ひとりの意向や達成感をより大切にしながら、支援内容の充実を図っていきたい。
2	保護者との信頼関係がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳(LINE)や送迎時に、良かった点を中心に具体的に伝える。 ・相談があった場合には、すぐに職員間で共有し対応を検討している。 ・家庭で実践しやすい関わり方を、わかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携をより深め、安心して相談できる体制づくりを進めていきたい。
3	安心して過ごせる環境・多様な活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な配慮(掲示・スケジュール)で見通しを持てる環境作りを行っている。 ・児童の興味関心を活動に取り入れ、参加意欲を高めている。 ・集団が苦手な児童には、別スペースや個別対応も活動度に検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がより主体的に参加できる活動内容や環境づくりを検討していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源、地域活動との連携が乏しい。(公共施設、地域イベント等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から地域との関りが少なく、事業所内活動に留まりがちになる。 ・社会体験の機会が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園、図書館、公共施設などを活用し、地域での活動経験を増やす。 ・地域行事やイベントへの参加を検討し、社会性を育む機会を作る。 ・外出時のルールやマナーを、実践的に学ぶ機会を取り入れる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援、連携に対する弱みがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との十分な面談時間が取れない場合がある(仕事時間からの忙しさ等)。 ・情報提供が一時的になりがちになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と十分に話す時間が取れない場合があるため、面談の機会を工夫し、連携強化を図っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の窓の位置が高い場所にあるため、安全性は高いといった利点がある中で、外部からの視認性が確保できない弱みがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部から施設内の様子が確認できず、開かれた事業所としての見えにくさはある。 ・万が一の際に、外部から異変に気づきにくい環境となっている。 ・初めて利用する保護者や地域の方にとって、施設内の雰囲気や伝わりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの視認性が低い点については、見学の受け入れや活動の様子や発信、職員配置の工夫等により、開かれた事業所運営と安全確保に努めていく。